

図書館教育

学校図書館全体計画

新潟市立岩室中学校

【教育目標】

よりよい姿を求めて学ぶ生徒

【令和7～11年度学校図書館活用推進事業】

中学校区で連携して学校図書館活用に取り組み、その成果を共有し合うことで、市全体の児童生徒の豊かな人間性を育み、児童生徒の情報活用能力、思考力、表現力を高めていく。

【研究主題】

多様な考えを受容し、自分の考えを深め発信できる力の育成

【めざす生徒像】

- ・自分で気付き、考え、動ける生徒
- ・物事を多面的・多角的に捉えることができる生徒
- ・他者と調和を図りながら、共に創ることができる生徒

【図書館教育の目標】

〈読書センター機能〉

- ・自分を豊かにする読書指導を工夫する。
- ・図書委員会の活動を通し、読書に親しむ啓発活動を行う。
- ・全校一斉による朝読書の実施を通し、望ましい読書習慣を形成する。
- ・小・中学校の児童・生徒の作品交流展示をする（小中連携）。
- ・図書委員会の活動作品を岩室図書館に展示する（地域連携）。

〈学習センター機能〉

- ・「9カ年で育まれる図書館活用能力（小中連携）」を身に付けさせる。

〈情報センター機能〉

- ・「情報センター」としての機能を整備し、授業等で計画的な図書館活用を進める。

【第1学年】

- ・図書館の利用の仕方を知り、目的に応じて読書したり、調べたりすることができる。

【第2学年】

- ・目的に応じた適切な情報を得て、自分の考えをまとめることができる。
- ・調べたことを交流することによって、見方や考え方を広げる。

【第3学年】

- ・集めた情報を分類・選択し、効果的な方法で表現することができる。
- ・得た情報を自分の生活や生き方に生かそうとすることができる。

教科	道徳	特別活動	総合的な学習
・課題解決型学習により、生徒の関心・意欲を喚起する。 ・授業内容の系統性・連続性のある資料の活用を通して、追究する姿勢を育成する。	・様々な資料を通して、ものの見方や考え方を広げたり深めたりして、自己を見つめさせる。	・様々な資料を通して、自己の能力や適性、興味関心に気づき、自己実現のために努力する姿勢を育成する。 ・資料を通して、体験的な活動や創造性を育成する。	・課題追究と解決に向けて、調べる手段や適切な資料の見つけ方を身に付けさせる。